

2014年度西地区部会研究会 第1回運営委員会議事要録

日 時：2013年10月18日（金）13:00～15:00

会 場：大谷大学 響流館4階会議室

出 席：愛知学院大学（委員長校・部会長校）

事務長 足立 祐輔

係 長 藤岡 聖子

奈良産業大学（京都地区理事校）

図書館事務室長 松尾 健

京都光華女子大学（京都地区研究会幹事校）

マネージャー 田村 伸一

楠 香織

大谷大学（2014年度当番校）

教育研究支援部事務部長 滝川 義弘

図書・博物館課長 山内 美智

欠 席：岡山理科大学（2013年度当番校）

事務課長 林 成吾

議事に先立ち、部会長校 愛知学院大学図書館情報センター事務長 足立祐輔が挨拶を行い、続いて出席者全員が自己紹介をした。議長は、部会長校 愛知学院大学図書館情報センター事務長 足立祐輔が担当した。

運営委員会の年度名表記が誤解されやすいため、今後は「私立大学図書館協会〇〇〇〇年度西地区部会研究会 第〇回運営委員会」のように、研究会と回数の中にスペースを入れて記載することを確認した。

議 事：2014年度西地区部会研究会の運営について

1. 開催日時および会場について

開催日時および会場について、委員長校 愛知学院大学（足立）より、次のとおり説明があった。

日 時：2014年9月13日（土） 10:30～（受付開始 10:00）

会 場：大谷大学 響流館3階メディアホール（予定）

会場については、参加人数も考慮して講堂、講義室も予定する。

2. メインテーマについて

メインテーマおよび趣旨について、委員長校 愛知学院大学（足立）より、次のとおり2案の説明があった。検討の結果、(案1)の「大学図書館と学修支援」をメインテーマとすることが承認された。

(案1)

テーマ：「大学図書館と学修支援」

趣 旨：近年、大学において図書館が実質的な「学びの場」という認識が浸透し、様々な学修環境整備への取り組みがなされている。本年8月文部科学省科学技術・学術審議会学術分科会学術委員会より公開された「学修環境充実のための学術研究基盤の整備について（審議まとめ）」においては、学習環境整備として、「コンテンツ」「学習空間」「人的支援」が一体となって推進されるものと具体的に言及しており、各大学図書館での取り組みも更に拡充すると予測される。

このような状況のなかで多様かつ先進的な事例を報告いただき、西地区部会加盟大学における図書館利用の更なる促進を期待するものである。

(案2)

テーマ：「資料のコンテンツ化と保存」

趣旨：印刷資料から電子情報への切り替えが実施段階に入って久しい。今後作成する資料のみならず、過去において書写あるいは版本として刊行された資料については、保存の観点からも別媒体での保存・公開、いわゆるデジタルコンテンツ化が課題となっている。資料の保管と利用という、相反する事象が共存し、相乗効果をもたらす施策について、各大学図書館で推進しておられる多様かつ先進的な事例を報告いただき、西地区部会加盟大学における図書館利用の更なる促進を期待するものである。

3. 研究会の構成・時間配分について

研究会の構成・時間配分について、委員長校 愛知学院大学（足立）より、例年とおりの提案があった。併せて 配付資料の「私立大学図書館協会西地区部会研究会実施概要一覧」に基づき、過去の参加人数、メインテーマ、研究発表内容を確認。2014年度第2回役員会での「研究発表者が図書館員であること」という確認事項を併せて説明。

基調講演については、メインテーマに関わる内容とする。また、質疑応答時間も含め、余裕をもった時間配分と進行のために、研究発表者数は、5地区各1名の必要は無いこと等、大凡の方向性を開催概要(案)として2014年3月7日第3回役員会に提出することを確認した。

4. 講演者の人選・演題について

講演者の人選・演題について、委員長校 愛知学院大学（足立）より、何れも未定であること、謝礼、会報掲載については、例年とおりでであることを説明。

- (1) 講演者・演題 何れも未定。
- (2) 講演謝礼は、研究会費から支出する。
- (3) 私立大学図書館協会会報への掲載。

5. 研究発表者の人選について

研究発表者の人選について、委員長校 愛知学院大学（足立）より、次のとおり提案があった。

(1) 各地区協議会への依頼について

1) 人選の対象

ア. 依頼文書を一部修正し、5地区協議会理事校に、原則各地区1名の推薦を依頼。無推薦地区があっても可とし、3名程度の推薦で区切る。これに対し、京都地区理事校 奈良産業大学(松尾)より、京都地区では10年先まで発表者を決めているため、無推薦地区には理由説明を求めること、また、テーマ未確定の状態を発表者を決めているため、許容範囲の広いテーマにして欲しい旨、依頼あり。

イ. 1件を複数の者（学内者、他大学関係者等との共同）で担当することは差し支えない。他地区、協会以外の者との共同も差し支えない。

2) 推薦依頼

部会長校から各地区協議会理事校に対して、正式に研究発表者の推薦依頼を行い、各地区協議会理事校は各加盟館長に、研究発表者の推薦をお願いする。

3) 人選締切日：2013年12月20日

4) 研究発表件数

研究発表者の推薦を集約し、研究会当番校と相談の上、部会長校より研究会開催概要（案）を第3回西地区部会役員会で提案し研究発表件数を決定する。なお、5地区各1名の推薦が無くても、追加募集は行わないこととする。

(2) 会報原稿執筆について

1) 研究発表の内容は、私立大学図書館協会会報に掲載する。

2) 原稿依頼は研究会終了後、部会長校から文書で行う。

3) 研究発表者には原稿料・資料代（2003年度より1万円）を渡すこととなった。

この経費は、部会長校が所管する部会活動費から支出する（研究会当日に支払）。
所得税納税。

6. 参加費、業者展示ほか

参加費、業者展示について、委員長校 愛知学院大学（足立）より、説明。

(1) 参加費

2,000～3,000円を目安に今年度の執行状況ならびに参加費から支出される費目等について確認後、決定する。研究発表者からは参加費を徴収しない。

(2) 業者展示

恒例となっている業者展示だが、総会から2週間経ての開催のため、研究会での業者展示は行わないこととする。業者展示の有無については、会長校にも相談し、場合によっては、常任幹事会での検討が必要。

7. 今後のスケジュール・作業について

今後のスケジュール・作業について、委員長校 愛知学院大学（足立）より、次のとおり確認があった。

(1) 研究発表者の推薦依頼（部会長校）

部会長校から各地区協議会理事校に研究発表者の推薦依頼を行い、各地区協議会理事校は加盟館長に、研究発表者の推薦をお願いする。

研究発表者の推薦締切日：2013年12月20日（金）

(2) 研究会当番校が、講演ならびに推薦のあった研究発表をもとに開催概要（案）を作成し、運営委員校の確認を得る。必要により第2回運営委員会を開催する。

(3) 2013年度西地区部会第3回役員会【2014年3月7日（金）開催】において、当番校の出席はないため、部会長校より開催概要（案）の説明と提案を行う。

開催概要（案）承認後、4月に部会長校から講演者・研究発表者に委嘱状、所属長・所属図書館長に派遣依頼状を送付する。

- (4) 2014年度西地区部会第1回役員会【総会前日:2014年6月12日(木)】当番校より、開催概要(案)を提案し、承認を得る。
- (5) 2014年度西地区部会総会【2014年6月13日(金)】・・・神戸学院大学にて当番校より、開催概要(案)を提案し、承認を得る。
※運営委員会の確認事項は、総会までは原案として取り扱う。
- (6) 研究会開催通知発送:当番校
研究会開催通知は総会後に当番校より発送する。出欠席表(欠席校も提出)を付す。宛名シール(あるいは住所データ)は、部会長校より当番校に渡す。その時点の西地区部会加盟校(総会で承認予定の新規加盟校を含む)。
- (7) 研究発表確認書、レジュメ(予稿)、発表用原稿:部会長校
従来の研究発表確認書が分かりにくいため、修正する。
研究発表確認書、研究発表者レジュメを集約し当番校へ送付する。
発表に必要な機器等は研究発表確認書に記入してもらおう。
レジュメ(予稿)を私大図協西地区部会HPへ掲載する。
当番校は参加者配付用の研究会資料を作成する。
なお、私立大学図書館協会会報掲載用の講演・研究発表原稿の最終取りまとめは、従来の1月末から2月末とした。

以上